

【みなとみらい21地区の地震等災害対策】

主要実施項目

- 1 防災エリマネ推進委員会
- 2 情報受伝達体制の強化
- 3 帰宅困難者対策の推進
- 4 災害時行動ガイドの更新



都市再生安全確保計画

○ 「都市再生安全確保計画」策定とその運用

◆「MM21地区防災エリマネ推進委員会」のこれまでの活動成果をとりまとめ、都市再生特別措置法に基づき、2017(H29)年10月策定。

◆関係者の連携を一層強化し、大規模地震時の滞在者等の安全確保に向けた取組を計画的に推進していく契機として、現在逐次その運用等に対応中。

◆「情報受伝達体制」の強化や、「帰宅困難者対策」等を重点的に進めることを目標とした。

※地区開発の進捗等に伴い「都市再生安全確保計画」の改定準備を行い、2021年度見直し素案作成、2022年度改定で準備中。

○ 1 「みなとみらい21地区防災エリマネ推進委員会」

当地区は、関係者が連携する『自助・共助の取組』をエリマネジメントとして進めるため、一般社団法人横浜みなとみらい21内に『防災エリマネ推進委員会』を2014(H26)年12月に設置、

- I 自助・共助の仕組みづくりと意識啓発、
- II 情報受伝達体制の強化、
- III 帰宅困難者対策と一斉帰宅抑制の推進
等について検討・推進している。

※ 地区合同防災訓練は、関係者・関係機関と連携して平成7年度(1996年3月)より毎年実施している(次回2022年2月実施予定)。

一般社団法人横浜みなとみらい21(YMM)

防災エリマネ推進委員会

エリマネジメント活動の一環として、関係者が連携し、防災に関する『自助・共助の取組』を推進



YMM事務局 会員企業 横浜市 オブザーバー(企業)

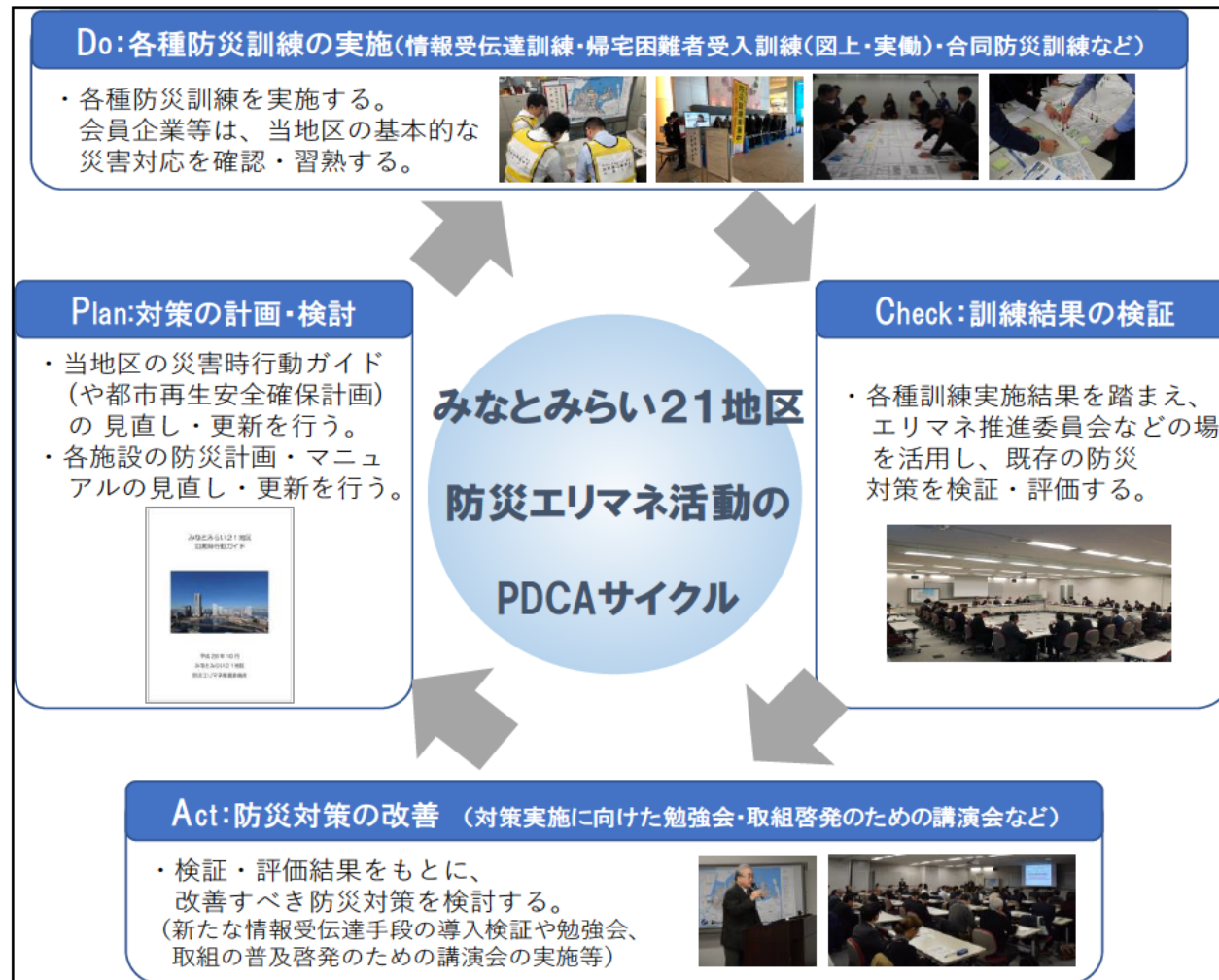


防災エリマネ推進委員会
Area Management Committee for Disaster Mitigation

MM21地区 地震等災害対策推進

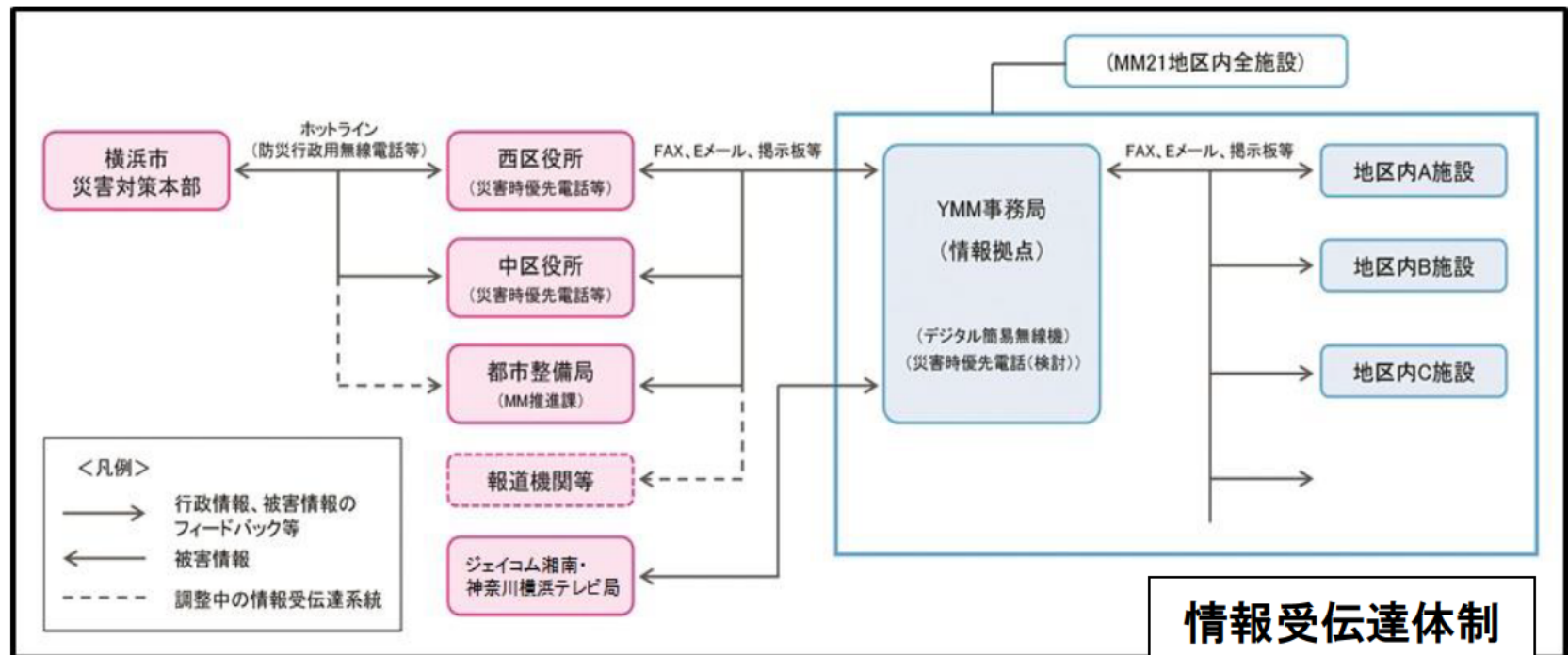
○ 訓練等による検証・災害時行動ガイド等への反映(PDCAサイクルの推進)

当地区の防災エリマネ活動では、運用上の課題を踏まえ、情報受伝達・帰宅困難者対応の強化を図るとともに、情報受伝達訓練・帰宅困難者受入訓練等で検証、有効性を確認した強化策について、災害時行動ガイドや都市再生安全確保計画に反映して行く。



○ 2 『情報受伝達体制』の強化

- ・災害時に地区内全施設(57施設:2021(R3)年9月末現在)及び関係行政機関と連絡する情報受伝達体制を構築済。
- ・行政機関からの災害情報を各施設に伝達するとともに、各施設の被害状況等を集約し行政機関と各施設に提供。
- ・情報受伝達手段は従来のFAXとEメール、及び、一般社団法人横浜みなとみらい21(「YMM」)のホームページに電子掲示板として『会員用災害時掲示板』を設置(2021年1月来街者・一般向けの災害時情報ページ新設等改良済)。



○ 2 『情報受伝達体制』の強化

- ・一般社団法人横浜みなとみらい21(「YMM」) のホームページに電子掲示板として『会員用災害時掲示板』を設置 (2021年1月一般向けの災害時情報ページも新設)。

各入力ページへの移動できるメニューです。

機能 7

機能 2

機能 1

機能 3

機能 4

機能 5

機能 6

YMMからの重要伝達事項、伝言を表示

地区全体の被害状況等を確認できます。

横浜市一時滞在NAVI 帰宅困難者の受入状況を確認できます。

リンクから公共機関のHPにアクセスできます。

現在、地震の情報はありません。

震度情報等が自動表示

伝言板

伝言を作成する

施設からの伝言を表示

この地区に返信 (0)

全ての伝言を見る

公共機関リンク

Twitterで表示

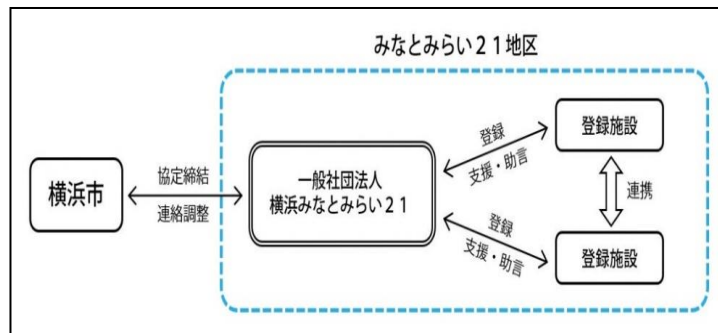
会員用災害時掲示板

2018(H30)年9月より本格運用中の『会員用災害時掲示板』を2021年1月に更に改良。

MM21地区 地震等災害対策推進

○ 3-1 帰宅困難者一時滞在施設『登録制度』の活用

- ・当地区では、地区内関係者が連携して2016(H28)年12月に帰宅困難者一時滞在施設『登録制度』を創設し、登録の受付を随時行っている。
- ・2021(R3)年9月末現在登録施設は17施設となり、横浜市との個別締結分も含めると、一時滞在施設は合計24施設に増加している。

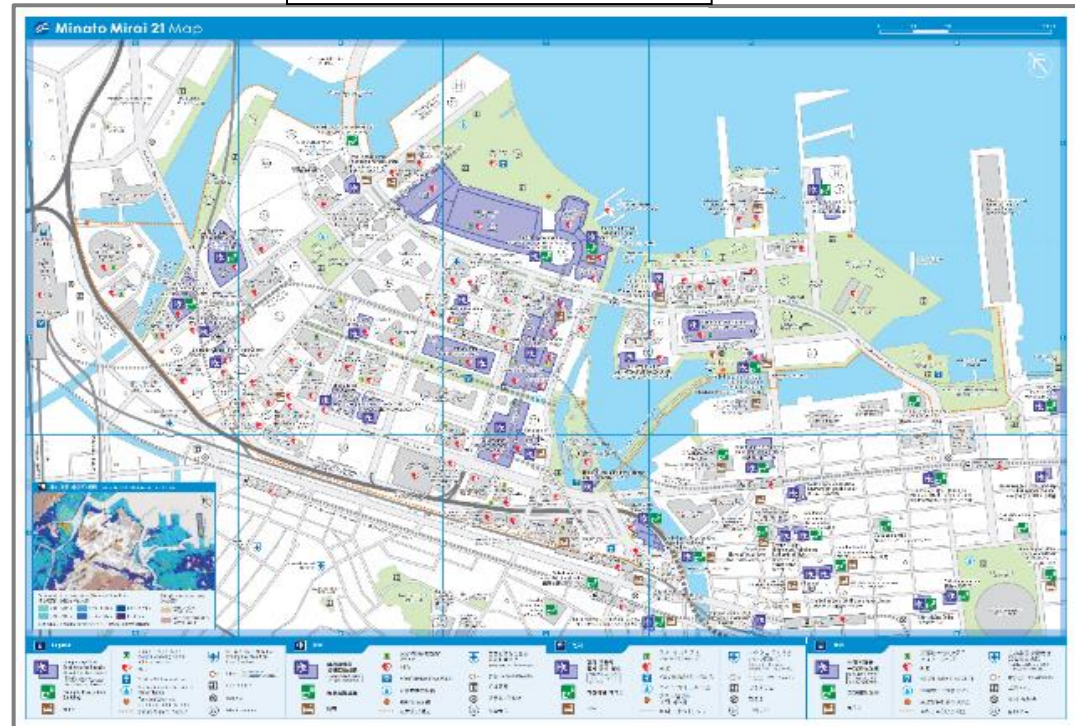


災害時行動ガイド



○ 3-2 帰宅困難者支援ガイド(防災マップ)

- ・来街者や就業者向けに、災害発生時の基本的な行動内容や有効な情報などを簡潔に記したものの2016(H28)年3月発行(以降、毎年更新)。
- ・2021年版(四ヶ国語改良版)を配布中



2021年3月
防災エリマネ推進委員会
[社]横浜みなとみらい21

- 【反映内容】新型コロナウイルス感染拡大防止へのご協力のお願い

-
- 新型コロナウイルス対策
感染防止対策
COCOA
QRコード
- お問い合わせ先
〒100-0001 東京都千代田区千代田1-1-1
東京都健康安全研究センター
〒100-0001 東京都千代田区千代田1-1-1
東京都健康安全研究センター
〒100-0001 東京都千代田区千代田1-1-1
東京都健康安全研究センター

① 家族等へ連絡する / 情報を集める

- 171へ電話
- 録音は 1 再生は 2
- 自らの電話番号を
市外局番からダイヤル
- 連絡を取りたい人の電話番号を
市外局番からダイヤル
- 録音または再生
- ※ 録音時間は30秒まで、再生は40時間保存

- 文字(全角100文字まで)で安否情報を登録・確認できます。

○横浜市中区の防災情報 (交通機関・イベント)
横浜市総務局 防災情報

○横浜市の防災ツイッター (Twitter画面で検索)
gyokohama_satzai

○テレビ神奈川データ放送
TVK データ放送

○災害時情報
ページ
(みちとあらしQ!
防災イタダキ)



http://www.jma.go.jp/
FMヨコハマ(84.7MHz)
/rediko.jpよりアクセス

1 Contacting family members

④ 地区内に一時滞在する

- 帰宅困難者一時滞在施設では、徒歩帰宅できない
方々に被災状況に応じて事業者の可能な範囲で休憩
場所の他にトイレや水道水、情報の提供を行います

一路潛在施設NAVI

○要配慮者の方(高齢者・障がい者・乳幼児連れ・妊娠)

○非常時にこそ、助け合いゆずりあいの「共助」の精神が

○ 常態的鑑査一時滞在施設利用時の注意事項(横浜市)

- ・一時滞在施設に指定されていても、被災状況、災害・被害等の事情

- 施設の開設準備には時間を要します。

● 一時滞在施設での滞在は、翌朝までとなります。

* マスクの着用、手指の消毒、換気、新型コロナウイルス感染確認アプリ

- 発熱、咳嗽など体調不良時には、すぐに施設管理者にその旨を伝え、発

感染症まん延時の防疫対策として
帰宅困難者向けの依頼事項を反映

受付時の
名簿にも反映

[illegible]

临时停留设施利用指南

(留意)

設施是為災害時難以回家的人臨時停留，由港未來21 地區的設施管理署協作，發揚共助 精神而開放。利用設施時，請事先同意以下的事項。

○利用设施时, 请遵从设施管理者的指示, 存在给他人造成影响的行为时
可能会被要求退出 设施

○请在可能的范围内协助设施运营。

○对于设置 **提示物** 上 否则一

揭小物之 反映

反馈

● 敬请配合防止新型冠状病毒感染的扩大
● 佩戴口罩、不聚集、保持距离

在智能手机上安装新型冠状病毒接触确认的APP(COCOA)

- 保证社交距离，勤洗手，注意咳嗽礼仪(咳嗽、打喷嚏时，用口罩、纸巾、手绢、衣袖等遮住口鼻)

■「帰宅困難者支援ガイド(防災マップ)」他防災情報コンテンツ発信方法の検討 ～更新のポイント(裏面)～

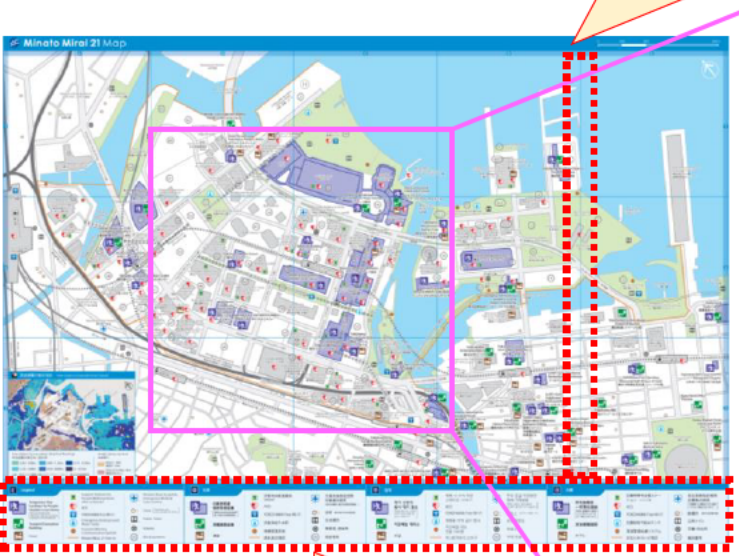
- **AED一覧を削除し**、全体のレイアウトを変更
- ナビゲーション容易化のため、**グリッド線の追加(15区画)**
- 「帰宅困難者一時滞在施設」に**新規登録する「43街区 神奈川大学」**及び**施設移転に伴い除外となる「31街区 横浜**
市市民活動支援センター」の情報を裏面(防災マップ)に反映
- 連続的な**オープンスペースを着色**
- その他、裏面(防災マップ)について、地区内施設への意見照会を行い、地区内の開発・更新動向を踏まえ、記載内
容・地図表現を更新(新規オープン施設の名称・外形、AED設置個所の確認等)。

全体図

3×5区画となるグリッド線の追加

拡大図

オープンスペースの
着色追加



一時滞在施設
新規登録情報の反映

新規施設の追加(例)

一時滞在施設
除外施設の反映(施設移転)

AED一覧の削除に伴う
凡例位置の変更

○ 4 『災害時行動ガイド』の更新

各施設の防災担当者が防災対策として共有すべきマニュアルとして、
2016 (H28) 年10月に『災害時行動ガイド』を策定(以降、毎年度更新)。

- ・「災害時情報受伝達編」
- ・「帰宅困難者対応編」
- ・「自助対応編(第2版で追加)」から構成。

第5版(2021年3月)では、風水害対策と
感染症対策の基本事項を追加。

※(例)帰宅困難者対応編:平常時、災害時別の
詳細なチェックリスト、帰宅困難者一時滞在
施設の利用案内(四ヶ国語)雛型などを掲載。

みなとみらい21地区
災害時行動ガイド[第5版]



2021年3月
一般社団法人横浜みなとみらい21

災害時行動ガイド

■災害時行動ガイド(第5版)(案)のポイント

2020年度の当地区の防災エリマネ活動を踏まえ、以下の全10項目を更新・追加 (更新:4 新規追加:6)

災害時行動ガイド「第5版」(案)への反映事項

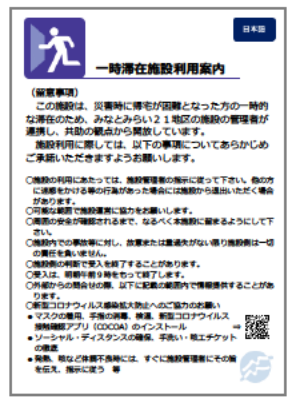
1. 情報受伝達体制の強化に関する取組反映 (3項目)

- 1-1 災害時掲示板の操作方法の更新
- 1-2 一般向けの防災ポータルサイトの運用について新規追加
- 1-3 【今後の課題】災害時の共助を支える地区内のホットラインの確保の新規追加



2. 帰宅困難者対策の推進に関する取組反映 (3項目)

- 2-1 コロナ対応等を踏まえた一時滞在施設運用に係る留意点やアイデアの新規追加
- 2-2 多言語版帰宅困難者支援ガイドの更新(コロナ対策、防災ポータルサイト、NHK情報反映)
- 2-3 コロナ対応を踏まえた一時滞在施設利用案内 (韓・中(簡・繁))【拡大印刷・掲示版用】の更新



3. 自助・共助の仕組みづくりと意識啓発に関する取組反映 (4項目)

- 3-1 建物内に留まり活動継続可能な環境づくりの推進について新規追加
- 3-2 風水害時の自助対応の新規追加
- 3-3【今後の課題】新たな社会課題への対応について新規追加
- 3-4【今後の課題】訓練による検証・災害時行動ガイドへの反映



(PDCAサイクルの推進)の更新※新たな社会課題への対応と都市再生安全確保計画への反映を明記

一時滞在施設の基本対応事項等を確認する簡易図上訓練の実施概要【2015(H27)年度～2020(R2)年度】

No.	日時	参加者・見学者	図面对象施設【合計10施設】 赤字：一時滞在施設の新規登録・検討中施設
1	2016年2月23日(火) 9:15～11:45	帰宅困難者受入施設 登録制度ワーキング (事業所、行政関係機関)	①横浜ワールドポーターズ(12・14街区) ②横浜ランドマークタワー(25街区)
2	2019年9月10日(火) 10:30～12:00	①株式会社NTTファシリティーズ ②株式会社東急コミュニティー ③清水建設株式会社 (以下、見学者) ・三菱地所プロパティマネジメント株式会社 ・西区役所	①横浜メディアタワー(41街区) ②クイーンズスクエア(24街区) ③横浜アイマークプレイス(46街区)
3	2019年12月5日(木) 10:30～12:00	①清水建設株式会社 ②日産自動車コーポレートサービス (以下、見学者) ・株式会社横浜国際平和会議場 ・アウディジャパン販売株式会社 ・京浜急行電鉄株式会社 ・横浜市危機管理室地域防災課 ・西区役所	①横浜グランゲート(54街区) ②日産自動車株式会社グローバル本社(66街区)
4	2020年9月15日(火) 10:30～12:00 ※コロナ禍での開催	①株式会社ロイヤルパークホテルズアンドリゾーツ ②株式会社資生堂、鹿島建物総合管理株式会社 (以下、見学者) ・横浜市危機管理室地域防災課 ・横浜市都市整備局みなとみらい21推進課 ・西区役所	①横浜ロイヤルパークホテル(25街区) ②資生堂グローバルイノベーションセンター (56-2街区)
5	2020年12月4日(金) 10:30～12:00	①京浜急行電鉄株式会社 (以下、見学者) ・横浜市危機管理室地域防災課 ・西区役所、株式会社横浜国際平和会議場	①京浜グループ本社(56-1街区)

→これまでの図上訓練では、一時滞在施設(候補施設)の施設所有者・管理会社が参加(その他見学者とオブザーバーとして市区が参加)。検証実施施設の用途は、事業所、商業施設、ホテルと多岐に渡る

■一時滞在施設の基本対応事項等を確認する簡易図上訓練の実施（2019.12.5）

の実施概要報告 ※当該年度2回目の実施（第1回と併せて延べ9社が参加）

■開催日時：2019年12月5日（月） 10:30～12:00

■訓練実施結果：帰宅困難者一時滞在施設に**現在登録を検討している施設**や**既存登録施設**の担当者の方を対象に、図上訓練を実施し、一時滞在施設として帰宅困難者を受入れる際に、**施設管理者に求められる基本対応や判断**について、**簡易的な形式で疑似体験**いただき、**取組理解を深めていただく機会**とした。対象施設は、①横浜グランゲート、②日産自動車株式会社グローバル本社、の2施設とし、2グループ7名程度に分かれ具体的な施設運用方法の確認を行った。

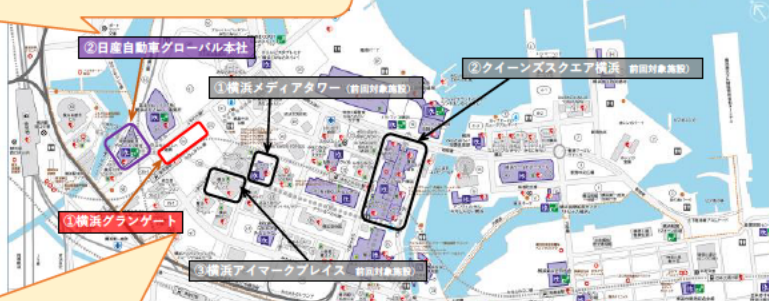
■参加者：①清水建設株式会社（4名）、②株式会社横浜国際平和会議場（2名）、③アウディジャパン販売（株）（1名）、④日産自動車コーポレートサービス（4名）、⑤京浜急行電鉄株式会社（3名）／ 市危機管理室（2名）、西区役所（1名）、事務局7名
⇒**検討中の一時滞在スペースの妥当性の確認（登録検討施設）と施設運用方法の確認・検証（登録済施設）の機会となった。**

＜当日のスケジュール＞

時間	内容
10:30～10:35（5分）	開会
10:35～10:40（5分）	1. 役割分担の決定
10:40～10:55（15分）	2. 受入基本方針の決定
10:55～11:15（20分）	3. 帰宅困難者の受入れ
11:15～11:35（20分）	4. イベントへの対応
11:35～11:40（5分）	5. 施設の閉鎖
11:40～11:55（15分）	6. 感想・意見交換
11:55～12:00（5分）	閉会

＜図上訓練の対象2施設 ※前回は3施設を対象に実施＞

自施設の施設平面図を用いた一時滞在スペース（共用部）の運用方法の確認・見直し【登録済施設】



自施設の施設平面図を用いた一時滞在スペースの設定方法の確認【未登録施設・新規オープン予定施設】

＜図上訓練の実施状況 ～一時滞在スペースの利用区分・受入手順の確認等～＞

施設平面図を用いた
屋内の利用区分と
基本導線の設定

（受付、基本の受入スペース、情報提供スペース
運営本部、立入禁止地区
要配慮者スペース等）



災害時行動ガイド
に基づく受入時の
案内・施設利用
ルール等の確認



受入者の属性を踏
まえた滞在スペース
への案内・誘導方法
や施設閉鎖に向け
た対応手順の確認

■2020年度の実施状況(9月15日) コロナ禍での開催例

■訓練シナリオに反映したコロナ禍における状況設定について

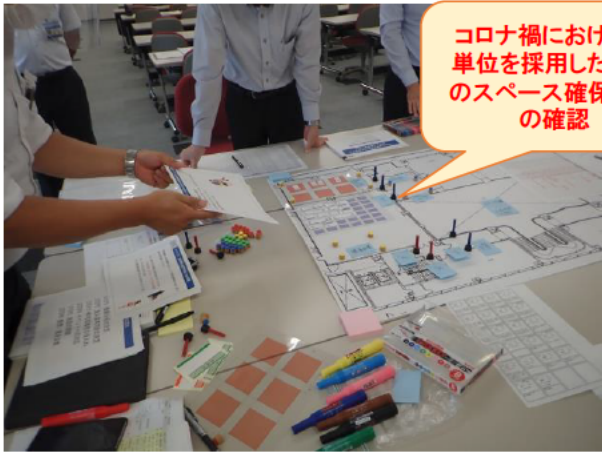
◆受入れ時に受付で必要な対応内容の確認
⇒社内**で確保可能な防疫備品**、受付での案内・記録内容等

◆受入れ後の突発事象への対応方針の検討
「滞在環境に適応できない方が発生：混雑する中での滞在が心身の負担となった（少し体調が悪い、熱っぽい）」
⇒世帯単位で個室への誘導調整、保健センターへの連絡相談

＜「密集」「密接」を考慮したワークショップ、検討結果の共有・意見交換方法＞



マスク着用必須、フェイスシールド着用(ファシリテーター)



コロナ禍における原単位を採用した場合のスペース確保状況の確認

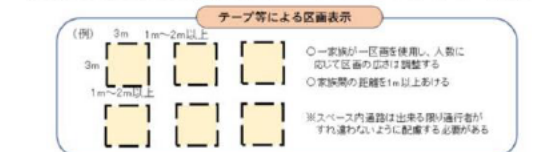


集まらずに情報共有する工夫(ipad+プロジェクター+壁面活用)

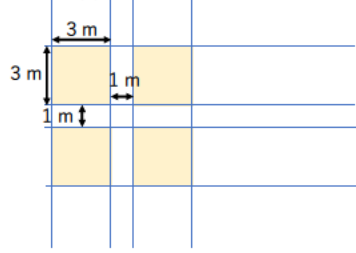


広い空間で密度を抑え、最低限の座席間の離隔を確保

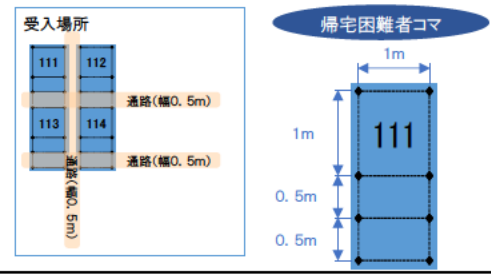
■一時滞在スペースの原単位確認



コロナ禍の場合：1区画2人（4.5㎡/人）、通路幅1mを設定した原単位



非コロナの場合、1.5㎡、通路幅0.5mを設定した原単位



防疫用品を適切に活用(消毒液、マスク、マウスシールドなど)、室内の換気環境の確保

■訓練参加者の主な意見:

みなとみらい21地区において、一般のお客様・就業者向けに「**みなとみらい21帰宅困難者支援ガイド**」を**四ヶ国版**で更新・配布します！

みなとみらい21地区では、エリアマネジメントを推進しているという特徴を活かし、『**強靱で安全・安心な街**』の実現を目指し、防災対策を本格的に推進しています。

この一環として、一般社団法人横浜みなとみらい21では、この街を訪れる一般のお客様や就業者の方々が災害発災時にも安心して行動できるよう、防災マップを含む「**みなとみらい21帰宅困難者支援ガイド**」を作成（初版2016年）しています。

この度、**四ヶ国語版の内容を更新し4月7日（水）から各所で配布**します。また当社団HP「**災害情報ページ**」では外国人用「**ヘルプカード**」と共に**ダウンロード**が可能です。

◆更新内容

- ① インバウンド対応やオリパラ開催等を考慮し、**四ヶ国語（日英中韓）版を更新発行**します。表面には**災害情報用QRコードを追加**し（特に外国語版はNHK情報サイトにリンク）、さらに**感染症防止対策の基本事項を記載**しました。
- ② 裏面の**日英表示の共通防災マップ**は、四ヶ国語の凡例を下部に移動してより見やすくし、15区画のグリッド線を追加することでより**検索をしやすく**しました。
- ③ 新たに竣工・オープンした施設(含帰宅困難者一時滞在施設)を掲載し、開発進捗に伴う改修施設の休館表示と移転施設の削除等、**最新のマップ情報に更新**しました。

◆「みなとみらい21帰宅困難者支援ガイド」

- ① A2判をA5判に折り畳んだもので、持ち歩きにも便利なサイズとなっています。
- ② 表面には、災害発生時の注意事項をはじめ、「家族等へ連絡する／情報を集める」「応急手当ををする」「徒歩帰宅を検討する」「地区内に一時滞在する」といった災害時に帰宅困難者の支援となるような情報とその一連の流れを記載しています。
- ③ 裏面には**みなとみらい21地区の地図を掲載**するとともに、公共トイレや**帰宅困難者一時滞在施設、津波避難施設、津波警報伝達システム**、病院・診療所、交番、AEDの場所などがわかるようになっています。

◆配布場所

- ・桜木町駅・横浜駅・新横浜駅の観光案内所、地区内各ホテル
- ・地区内主要商業施設インフォメーション、みなとみらい交番・新港町交番
- ・横浜市役所・横浜市西区役所・中区役所、一般社団法人横浜みなとみらい21 等

※支援ガイドは当社団エリアマネジメントHPからダウンロード可能（P2、3参照）：<https://www.ymm21.jp/>

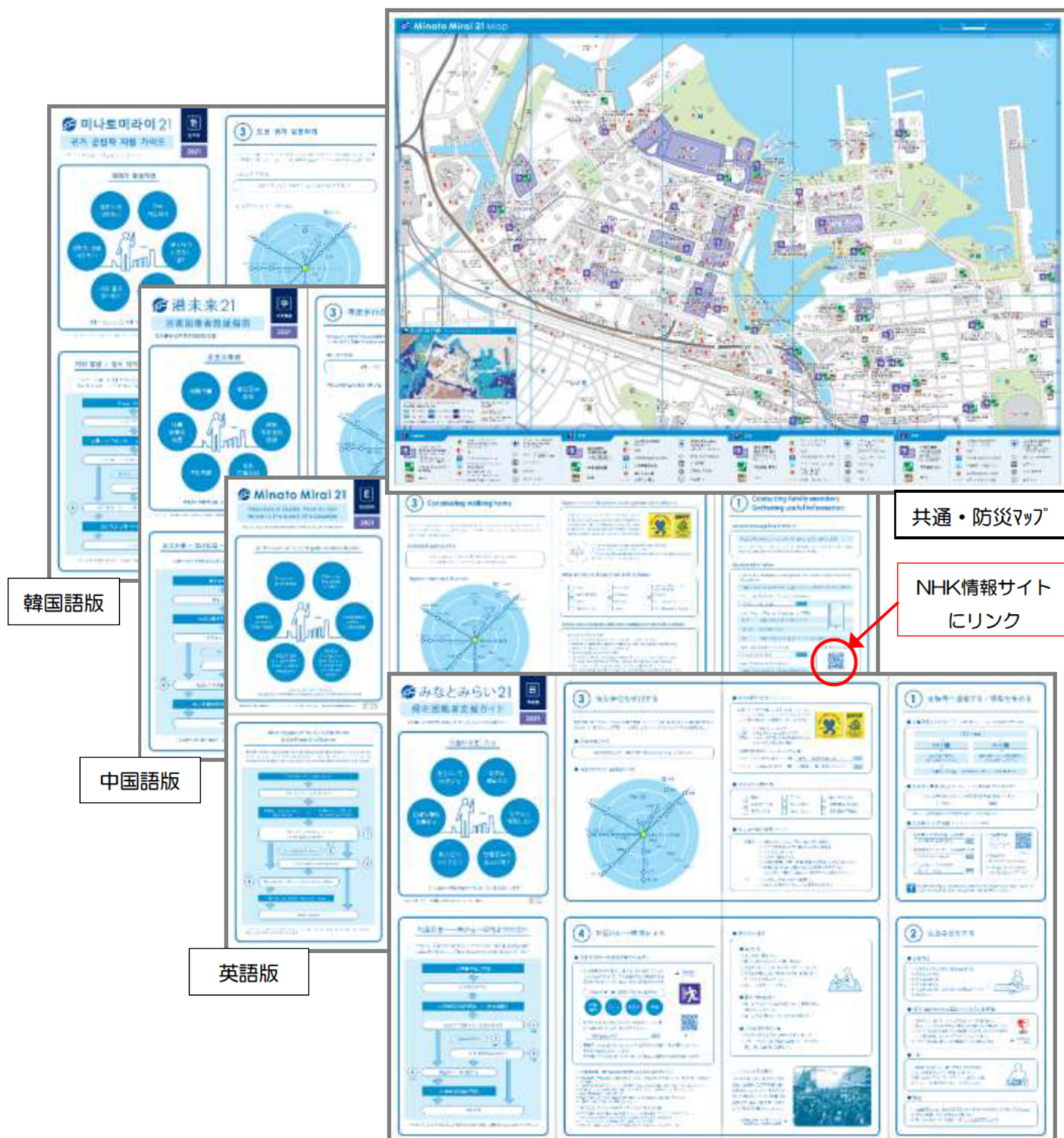
◆本支援ガイドは当団体HP「災害情報ページ」よりダウンロード可能

今回更新した帰宅困難者支援ガイドは、当団体エリアマネジメントHPに本年1月設置した「災害情報ページ」よりダウンロードすることができます。また、災害時などに使用する外国人意思疎通用の「ヘルプカード」(2015年5月印刷発行、今回更新版は本支援ガイドのマップがあるため、更新した表面データのみ配付)も、ダウンロードできます。

◆「ヘルプカード(更新版)」の特徴

- ① 四ヶ国語(日英中韓)表記で、普段の生活でも活用できるようになっています。
- ② 発災時の対応方法や情報入手方法といった「役に立つ情報」が記載されているほか、「病院に連れて行ってください」「避難する場所はどこですか」といった質問を指さしだけで伝えられるような機能を盛り込んでいます。また、所持いただく方の氏名や国籍、血液型といったプロフィールを記入できるようになっています。

◆「みなとみらい21帰宅困難者支援ガイド 2021」イメージ



◆当団体エリアマネジメントHPに設置した「災害情報ページ」のイメージ

「災害情報ページ」概要：

- 2021年1月当団体エリアマネジメントHPに設置（一般来街者等が対象）。
- 「災害情報」「横浜市一時滞在施設NAVI」「防災関連リンク」「横浜市Twitter」の情報を入手可能。
- 「帰宅困難者支援ガイド」「ヘルプカード」がダウンロード可能



支援ガイド(日本語版)のこのQRコードからスマートフォンで「災害情報ページ」にリンク・閲覧ができます。

Click!



◆「ヘルプカード（更新版）」のイメージ

更新版ヘルプカードの主な変更内容：
対面での使用想定を横並び使用に変更、日本語と四カ国語の文字の上下を、反対向き表示から同方向に変更した。



◆「一般社団法人横浜みなとみらい21」について

みなとみらい21地区内の土地・建物所有者、施設管理運営者等により構成され、みなとみらい21地区の魅力高め、質の高い都市環境の維持・向上を図るため、街づくりや環境対策、文化・プロモーション活動などを通じて、みなとみらい21地区全体のエリアマネジメントを行っています。

■理事長：坂和 伸賢

■所在地：神奈川県横浜市西区みなとみらい2-3-5 クイーンズスクエア横浜 クイーンモール3F

■横浜みなとみらい21公式ウェブサイト：<http://www.minatomirai21.com>

お問い合わせ先

一般社団法人横浜みなとみらい21

総務部長

小川 乃久

総務課担当課長

菅 秀樹

電話045-682-4401